

日本犯罪社会学会 第41回学術大会シンポジウム 少年非行と非行少年処遇の過去・現在・未来

日 時： 2014年10月19日(日)13時20分～16時50分

場 所： 京都産業大学 神山ホール (受付:1階ロビー内)

参加費： 会員 2000円 一般参加者(非会員) 2500円

大学院生(会員・非会員) 1000円 学部生 無料 (事前申込不要)

(18日・19日学術大会全てに参加することが出来ます)

趣旨

少年法の第4次改正が2014年4月に国会で成立しました。不定期刑の長期・短期が変更されたり、検察官関与と国選弁護士付添人の範囲が拡大されたりしました。2000年に少年法が改正されて以来、数次の改正を経て少年司法と非行少年の処遇は大きく変貌しました。

この機会に、少年非行・少年犯罪と非行少年の処遇について戦後から現在までを振り返り、将来を展望したいと考えます。戦後における重大な少年犯罪を含む少年非行の特徴と変化、家庭裁判所、少年院、更生保護施設をはじめとする、司法機関、矯正施設、社会内処遇の変化や課題などを検討し、少年非行と非行少年の処遇に関する今後の展望を得ることとします。

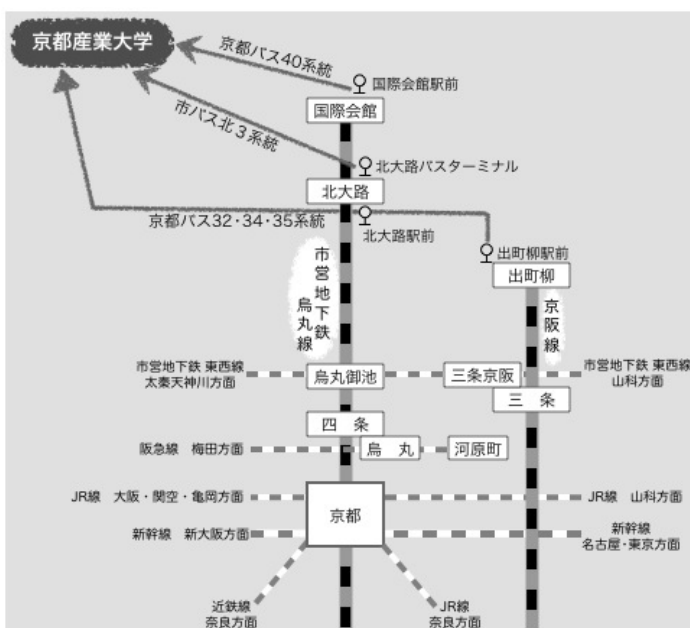
< 報告者 >

伊藤茂樹 (駒澤大学教授)
加藤幸雄 (日本福祉大学前学長)
岩井宜子 (専修大学名誉教授)
百瀬覚由 (更生保護施設立正園施設長)

< 討論者 >

野田正人 (立命館大学教授)
武内謙治 (九州大学准教授)
< コーディネーター・司会 >
鮎川潤 (関西学院大学教授)

< アクセスマップ >



神山ホール

京都駅から市営地下鉄烏丸線

「北大路」「国際会館」よりバス利用

「出町柳」(京阪線)よりバス利用

お問い合わせ先 日本犯罪社会学会研究委員会

kenkyu2014@yahoo.co.jp

日本犯罪社会学会事務局 〒577-0036 大阪府東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センターU-BOX2階 TEL:06-6618-4324